



本照寺での竹林整備と  
焼き芋作り  
(撮影：小林会員)

令和 7 年 12 月号 Vol. 260  
(2025 年)

発行：令和 7 年 12 月 8 日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <https://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス [atugikanvola@yahoo.co.jp](mailto:atugikanvola@yahoo.co.jp)

発行責任者 会長 田頭 文昭 編集担当者 澤田 正弘

## 《訪問ガイド研修（あつぎ担当）「飯山観音開山 1300 年を訪ねる」》

行事区分：訪問ガイド研修（かながわガイド協議会）

日 時：11 月 5 日（水）9：40～12：30

場 所：飯山地区

参 加 者：11 団体 32 名、会員 16 名

かながわガイド協議会が主催する訪問ガイド研修が、あつぎ担当で開催されました。本件訪問ガイド研修は今年 6 月 25 日（水）の開催予定でしたが台風から変わった大雨の影響で中止になり、今回はリベンジでの開催となりました。

朝、本厚木駅北口に到着された参加者をのぼり旗などでお迎えし 5 番バス乗り場に案内しました。中飯山自治会館で受付け、資料配布、班割りを行いました。開会式ではかながわガイド協議会



飯山観音の観音堂前広場



安達藤九郎盛長の墓前

田中保副会長様からのご挨拶、当会の田頭会長の挨拶がありました。出発前に「ざる菊祭り会場」の前で全員の集合写真を撮りました。

ガイドは 3 班構成で、各班はそれぞれ最初のガイド地点へ向かいました。ガイドは 1 名とし、タイムキーパー、掲示係などのサポートが付きしました。

ガイド用掲示板は、見やすいように A3 のコピー用紙を見開きでスケッチブックに貼り付けるタイプにしました。

1) 飯山観音は開山 1300 年という事で、春と秋の日曜日には特別御開帳で定点ガイドを行っていますが、今回は平日にもかかわらず厨子を開いて頂き、十一面観音を拝観する事が出来ました。2) 金剛寺では県指定文化財の木造「地藏菩薩像」を見ることが出来ました。また屋外にある安達藤九郎盛長の墓を案内しました。

3) 龍蔵神社では宮司さんから神社の由緒に関するお話しや、井上五川作の奉納絵馬、出土した刀剣、壺などの解説をして頂きました。

参加者は予定通り、飯山観音前発の 12 時 26 分、46 分発のバスに全員乗ることが出来ました。

参加団体からの反響は①十一面観音の御開帳による参拝が出来て良かった。②3 班がそれぞれ回る順が違っていたので説明するポイントが重ならずスムーズだった。③掲げる図面が大きくて見やすかった。④マイクを効果的に活用していた。などが寄せられました。

今回は各見学先の社寺の皆様には色々のご協力を頂きました。また会員による事前準備（配布資料、下見、関係先との調整）や当日朝には本厚木駅前でのバス停案内、観音堂入口での入場管理、駐車場での案内などご苦労様でした。  
(澤田 記)



龍蔵神社内で宮司さんによる説明



ざる菊祭り会場前での集合写真

### 《秋季入込観光客調査》

行事区分：行事支援

日 時：11 月 2 日（日）9：00～16：00

場 所：厚木市内 5 拠点

参 加 者：10 名

### 相模川三川合流地点（青少年広場）

曇りがちの陽気で少し心配でしたが、無事入込観光客調査ができました。河川敷には朝から 5～6 グループのテントが張られて、バーベキューの準備中のようなようですが 10 時を過ぎた頃からは車の数も増えてきて、11 時には 15 グループ位にふえました。駐車場も



8 割方埋まっているようでした。裏手のテニスコートには約 10 名のグループが到着し、テニスをはじめていましたが、野球場は不在でした。当日は中央公園で厚木市の市政 70 周年記念のミュージックフェアがあるためか？予想よりやや人出が少ないようでしたが、午後一時ころには、河川敷には約 150 人位に増えました。河川敷のグループにアンケートを戴きに一回りしてきましたが、若者で大半が家族グループでした。フィリッピンから来たという 5 人組のグループに会い親しく話ができ、焼き物を食べてくださいとまで言われましたが流石に、それは遠慮しました。

前回の時もお会いしましたが“湘南ベルマーレ”というサイクリンググループのメンバー約 15 人が集合していました。その中にかっこいいユニフォームに身を固めた、横浜から参加の女性にアンケートをもらいました。宮ヶ瀬までサイクリングに行ってきたとの事でした。やはり若いってすばらしいですね・・・がんばれ若者諸君！

当日の相棒女性の M さん、大変ご苦労様でした。

(山下武敏 記)



#### 広沢寺温泉（七沢観光協会駐車場）



11月の三連休中日で、まずまずの天気。たとえば、ハイキング。広沢寺駐車場は紅葉を期待した、ハイカーとロッククライミングの常連達。そして、最近ネット情報効果があり、気軽な釣りや川魚料理を期待した横浜、東京ファミリーをますます呼び込んでいます。また、ネットで厚木のハイキングコースを印刷して持参していた方が二組もいました。魅力的な観光案内のページをもっと増やしてもらいたいとも言われました。

ただ、口々に「熊は？」と聞かれます。地元の方の説明では、「丹沢の熊は 70～80 頭ぐらいおり、被害は聞いていないけれど、こればかりはわからない」とのことでした。猿、鹿、猪、熊、山では普通の生き物です。丹沢の熊は絶滅危惧種なので、駆除はできず、捕獲したら山へ返すとのことでした。時間帯に注意し、熊ベルで向こうに避けてもらう様にすることが肝要です。

最近の広沢寺駐車では、以前より「見城から日向薬師」のコースについて聞かれる事が多くなったこと、日帰り温泉施設が使えない残念さをよく聞く様になりました。ハイキングあとの日帰り入浴を楽しみにしている声は大事です。

秋の里山の午後はあっという間に寒くなります。いつもより、早く帰宅される方が多い広沢寺駐車場でした。

(石川 記)

## 《県西観ボウ幹部研修交流会》

行事区分：訪問ガイド研修（県西ガイド協議会、担当：海老名ガイド協会）

日 時：10月31日（金）9：30～15：30

場 所：海老名市

参 加 者：会員2名

コース概略：「研修」海老名市中央公園～相模国国分寺跡～海老名市温故館～逆川関連遺構～相模国国分尼寺跡～龍峰寺～海老名駅  
「代表者会議」海老名市文化会館



国分寺跡（七重塔基壇）

午前の研修は「天平文化遺産を歩く」。国分寺跡では隣接する郷土資料館の温故館（旧海老名村役場庁舎）で国分寺の復元模型や出土瓦などを見学してから、現地で説明を受けました。建物はありませんが塔、金堂等の礎石や基壇の前で伽藍配置や発掘調査時の写真等の資料を示して説明。往時のイメージが浮かびます。礎石はすべて出土したものと思っていたのですが、発掘調査時の写真で出土した礎石と、後から補ったものがあることを知りました。国指定重要文化財の千手観音立像を有する龍峰寺では荻野の絵師歌川国経の描いた「石川五右衛門太閤寝所乱入図」の絵馬を拝観。八菅山鳶尾山ハイクの歌川国経の墓で厚木観ボウではおなじみですが、その絵を実際に見るという貴重な経験となりました。



午後は代表者会議。①本日のガイドへの感想②ガイド資料の作成③ガイド高齢化への対応等が議論されました。

ガイド資料では、当会の資料が大好評。参考に欲しいとの要望が相次ぎ持参した見本をすべて差し上げました。

高齢化対応では、養成講座を9月から4月に、平日から土日に変更し、若い人の応募が増えた団体、定例会を平日、休日交互に行う団体がありました。

養成講座を有料（3千円、入会すると会費に充当）にし応募者が増えた団体、受講料を1万2千円、2万円と値上げしている団体もありました。

次回開催時期はイベントの集中する10、11月は避けてほしいとの意見も出ました。

次回幹事を確認し、閉会しました。

（清田邦男 記）



## 《訪問ガイド研修「合同研修会・交流会」》

行事区分：訪問ガイド研修

(かながわガイド協議会、担当：NPO 法人かわさき歴史ガイド協会)

日 時：11 月 27 日(木) 10:00~15:00

場 所：川崎市(東海道かわさき宿交流館、市内)

参 加 者：会員 3 名

京浜急行川崎駅から徒歩 6 分の「東海道かわさき宿交流館」に着きました。ここは旧川崎宿にある 4 階建のビルで川崎宿を再現したジオラマや川崎宿ゆかりの人物、各種展示物、集会室などがあります。

午前中は講演会として講師の神奈川県立歴史博物館館長 望月一樹氏から「川崎宿と川崎大師」というテーマで説明がありました。

慶長 6 年(1601)、東海道の宿駅伝馬制度を敷きましたが、川崎宿はそれから遅れること 22 年の元和 9 年(1623)に宿場が起立しました。その時は本陣も旅籠もなく、伝馬役を果たすには大変な苦労があったと記録に残っているそうです。

天保 14 年(1843 年)の「宿方明細帳」によると川崎宿の家数 541 軒、人口 2,433 人、旅籠 72 軒、馬 100 疋、人足 100 人。「川崎宿宿並書上帳」を見ると建物が 1 軒毎に明確に描かれていて、その特徴は道路側の間口は狭く、奥行が長い平面になっていて、税金が間口の広さで決まる事がその背景にあります。



午後は 交流会・ガイドツアーとして「川崎宿」を中心に今日までの川崎の変遷を巡りました。約 3.5km。

まず JR 川崎駅東口駅前広場の坂本九歌碑前に集合、我々あつぎの 3 名は大磯、小田原と同じ第 4 班となりました。坂本九さんは川崎生まれでした。

繁華街を過ぎたところに 2023 年に出来たばかりの川崎市役所があり見学しました。



川崎市役所前

25 階に上がりスカイデッキの展望ロビーから市内 360 度の景色を見ることが出来ました。

稲毛神社(祭神：武甕槌神)は「川崎」の守り神で、御神木大銀杏の樹齢が一千年と推定されることから古社であることがわかるとの事です。境内には他に 16 の神社が鎮座していました。

川崎宿東端にあった六郷の渡しの碑を見ました。六郷橋が架けられるも何度も大洪水で流されてしまい、幕府は架橋をあきらめ明治に至るまで 200 年近く渡し船の時代が続きました。この近くに「大師電気鉄道」の始発駅のホームが見られました。東日本では初めての電車で、明治 32 年(1899)に六郷橋―大師間で開業したそうです。今は京浜急行大師線となっています。(澤田 記)



## にぎわい爆発・あつぎ国際大道芸

11月8日、9日 （撮影：高橋会員）



## 最近の活動

日 付	場 所	内 容	参 加 者
11 月 5 日	飯 山	かながわガイド協議会 「飯山観音開山 1300 年を訪ねる」	会員 16 名
11 月 8 日	アミューあつぎ	定 例 会	会員 15 名
11 月 16 日 23 日 24 日 30 日	飯山観音	定点ガイド	会員（延べ） 21 名
11 月 21 日	秦野市	企画カイド 下見 「弘法山ハイキング」	会員 6 名
11 月 27 日	川崎市	かながわガイド協議会 「合同研修会」	会員 3 名
11 月 28 日	秦野市	企画カイド 「弘法山ハイキング」	会員 6 名
11 月 28 日 29 日	下古沢・飯山	文化財一般公開	会員 7 名
12 月 3 日	小鮎公民館	編集会議	会員 3 名

### 編集後記

今月号の記事は訪問ガイド関連が 3 件となりました、1 つ目は当会が神奈川県各団体をお迎えしてのガイド、他の 2 件は海老名市と川崎市へ訪問してガイドを受けたものでした。ガイドのやり方は各団体ともそれぞれ工夫されていて、当会にとって参考になる点が多いです。また訪問する事で県内の観光スポットを見学出来ます。今後も積極的に参加して観光体験をしましょう。

編集委員 小林 直樹 澤田 正弘 清田 邦男